

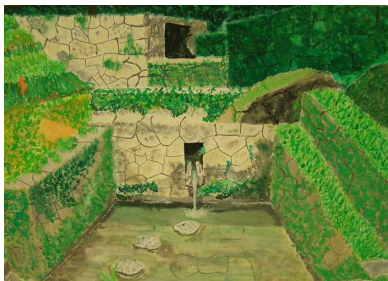
はくぶつかんネット

第35号

~ GINOWAN MUSEUM ~

2008年

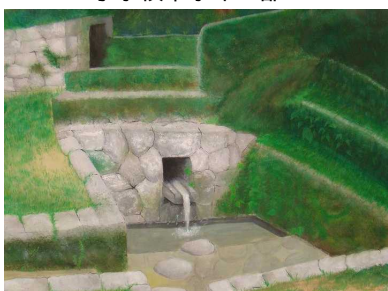
9 ~ 12号



小学校中学年の部



小学校高学年の部



中学年生の部

◎~~~~~◎

昨年度の教育長賞作品です。
本年度の作品は会場にてご覧
ください (入場無料(´o`))

◎~~~~~◎

発行：宜野湾市立博物館
TEL 098-870-9317
FAX 098-870-9316
宜野湾市ホームページ
HP <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/>
宜野湾市教育委員会
HP <http://www.ginowan-okn.ed.jp/index.html>

第17回 宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展



のご案内

開催期間 ◆ 2008(平成20)年10月4日(土) ~ 20日(月)

博物館キャラクター
天女ちゃん

場 所 ◆ 宜野湾市立博物館 企画展示室

時 間 ◆ 午前9時 ~ 午後5時(入館は4時半)まで。 毎週火曜日・祝祭日は休館日!

♥ 10月4日(土)の午後3時から、表彰式が行われます ♥

宜野湾市立博物館では、10月4日(土) ~ 20日(月)まで、「第17回 宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展」を、開催致します。

これは、市内の小学校3 ~ 6年生と中学生を対象に、市内にある文化財や伝統芸能、地域での行事・民話・伝統等をテーマにした図画作品を、夏休みの自由課題として描いてもらい、そこから宜野湾市にはどんな文化財があるのか、どのような歴史や文化をたどってきたのかを実際に見て・触れて・調べて知ってもらう事を目的としています。そして集まった作品を、各小中学校の図工・美術の先生方に審査してもらい各賞を選出し、展示します。

気になった方は、ぜひ博物館まで足をお運び下さい。きっと、楽しい作品たちに出会えると思いますよ(*^_^*)V

英字新聞「デイリー・オキナワン里帰り展」

市立博物館では、平成20年度の第3回企画展として、9月3日(水)から28日(日)までの間、『英字新聞 デイリー・オキナワン(以下、「DO紙」と略す。)里帰り展』を、市教育委員会文化課と共同で開催しました。

企画展では、本ネットの前号でご案内したように、終戦直後の1946(昭和21)年から1948(昭和23)年までの3年間、当時の宜野湾村普天間(現在の普天間高校の敷地内)にあった、米軍向け英字新聞「DO紙」の原紙や写真等の関連資料290点余を、(1)「デイリーオキナワン」とは、(2)THE DAILY Okinawan、(3)写真にみる戦後の宜野湾・沖縄の三部構成で紹介しました。



当時のDO社関係者

展示期間中は、市内外から延べ1,420人もの見学者が来館なされました。そして、見学者の方々からは、「デイリーオキナワで高校時代の夏休みに新聞の耳を整える作業(アルバイト)した。なつかしかった。アルバイト賃金ではなく、新聞用紙をもらってノートにした」、「母と一緒に来ました。母は当時12才くらい。懐かしい写真に涙してました」など、多くの感想が寄せられました。また、「DO紙」関係資料を「琉球新報社新聞博物館」に寄贈なされたドナ・カーティンさんとその便宜を図られた山口栄鉄氏さんが、遠路はるばる米国から来館なされて恐縮いたしました。

来館なされた市内外の皆様をはじめ、本展示会の共催を賜りました琉球新報社と沖縄県地域史協議会、並びに展示内容についてのご指導とご協力をいただきました関係者の方々に、厚くお礼を申し上げます。

「新収品展」・「慰霊の日特別展」の報告

6月8日(日)～7月6日(日)まで、平成19年度中(平成19年4月1日～平成20年3月31日まで)に宜野湾市内外の方々から寄贈していただいた資料や、当館が収集した資料などの中から選定した資料を、寄贈者のエピソードや資料の簡単な解説文を加え、「第8回 新収蔵品展」と題して当館企画展示室で開催しました。またそれと同時に、例年、慰霊の日(6月23日)にあわせて行っている「慰霊の日 特別展」も同会場にて同時開催されました。これまで「慰霊の日 特別展」は博物館だけで行っていましたが、今年度から、例年市役所本庁舎ロビーで慰霊の日・展示会を行っていた“市史編集係”と合同で行いました。今回のテーマは、「宜野湾市民の沖縄戦 4 歴史の証言 -戦のなかの子ども達-」とし、沖縄戦の経緯をたどると共に、戦場・疎開先・収容所等における子ども達を中心に紹介しました。

両展示会が、同会場にて同時開催する事は、初めての試みでしたが、1400名余りの方々に足を運んでもらい、大盛況となりました。中には、リピーターの方もいたようです(^_^)

毎年、両企画展を開催する度に想うことですが、「新収蔵品展」では、昔使われたモノを見ていると、当時の方達の知恵や工夫・様子などが見えてきたり、今のモノを使った暮らしがなんと豊かな事かと再認識する事がよくあります。また、「慰霊の日 特別展」では、沖縄戦を身近に感じ、「命どぅ宝」の言葉の意味が、重みのある言葉だと再認識させられます。

これからも両展示会を開催し、これらのメッセージをたくさんの方々へ発信出来るよう、継続して努めて参りますので、たくさんの方々に受けとめていただけたらと思います



「新収蔵品展」の様子



「慰霊の日 特別展」の様子



ミニ企画展 1 『目で見える宜野湾の歩み』



ミニ企画展の様子



7月1日(火)からミニ企画展の第1回として、『目で見える宜野湾の歩み展』を開催しました！常設展示室や企画展示室とは別に、これまで休憩所として活用していた市立博物館展示ロビーの一画に新たな展示スペースを設け、そこをミニ展示室としてミニ企画展を開催しました。

今回は7月1日の“宜野湾市民の日”にちなんだテーマとして、これまでの宜野湾の歩みを、「ぎのわんへの誘い、宜野湾のあけぼの、宜野湾間切の成立、宜野湾村の成立、宜野湾市の誕生、現在の宜野湾」に分けて展示しました。会場では、訪れた来館者の方々が近年の宜野湾市のトピック写真を見て懐かしんだり、宜野湾の歴史や、歴代首長の顔写真を興味深そうに眺めている光景が見られました。また、今回の企画展を通して、宜野湾市についてより深く学ぶことができ、私たちが住むこの街に対して、今まで以上の愛着や親しみを持つきっかけを作ることができたのかなと思います。

市立博物館は常設展示室や企画展示室での展示に加えて、このようなミニ企画展を今後も継続して開催していきたいと考えています。ご期待ください！

『ご先祖様』・『石になった生き物たち』展



8月1日(金)～8月25日(金)に第2回企画展として、『ご先祖様の生活の知恵展』を開催しました。

『ご先祖様の生活の知恵展』では、宜野湾や沖縄の自然的特色である「亜熱帯気候とさんご礁の島嶼世界」の中で、私達のご先祖様である沖縄貝塚時代の人々の生活の様子を紹介しました。その中で、当時の人々がどのような“知恵と工夫”を凝らして自然物の採集生活を営んでいたのかを、様々な生活の道具の展示から紹介しました。

訪れた来館者の方々には、貝塚時代の人々の生活の様子を再現したジオラマ写真や、貝塚時代の生活の道具の展示を眺めて、遠い過去のご先祖様の生活の様子に思いを馳せている様子でした。「今よりもいい暮らしをしているんじゃない?」、「昔の人はウミガメを食べていたんだ?!」など、さまざまな感想を聞くことができました。また、貝塚時代の道具と現代の道具を比べる展示コーナーでは、親子連れの見学者の方で、両親がお子さんに道具の使い方を説明しているほほえましい光景も見られました。(^ ^)

また、同会場にて同時開催として、おきなわ石の会の共催を受け、『石になった生き物たち』と題した化石展を行いました！マンモスの化石や、恐竜の卵の化石、ネアンデルタール人の頭がい骨の化石のレプリカをはじめとして、普段はめったに見ることができないさまざまな化石が展示されました。会場は家族連れや多くの子どもたちでにぎわい、大盛況の様子でした。不思議そうに化石を見つめる子どもたちの真剣なまなざしが印象的でした。

博物館では、今後も家族連れの方々や、老若男女問わず楽しめる企画展を開催していきたいと考えています。今回の企画展に訪れてくださった市民の皆様、ご来場ありがとうございました！

夏休み企画 『こども博物館教室』の報告

7月21日～8月23日の間に計3回、夏休みの学習支援教室として『こども博物館教室』を開催しました！第1回：7月27日(日)は「自由研究のテーマ探し」。自然観察指導員の先生を講師にお招きし、宜野湾市内に生息する生き物や自然について学び、森川公園で自然観察を行いました。子どもたちは暑さにも負けず、熱心に自然観察をしている様子でした。第2回：8月3日(日)は「昔なじみの道具作り」。粘土の動物作りや土器作りの名人を講師に迎えて、子どもたちも土器作りにチャレンジ！慣れない粘土と格闘しながら、みんな真剣に作業に取り組んでいました。後日、焼きあがった土器は子供たちのもとに(^ ^)v。また、同時開催の火おこし体験では、無事に火種が燃えるとみんな大興奮！昔の人々の火おこしの苦労を実感した様子でした。第3回：8月17日(日)は「野草 貝殻 岩石 昆虫など調べ」。子どもたちが夏休みに集めた標本を博物館に持ち寄ってもらって、その名前調べを博物館の職員がお手伝いしました。トロピカルビーチで捕まえた小さなカニや、市内で釣った魚・・・などなど！集めた標本の正体がわかると、子どもたちは嬉しそうな表情を見せてくれました。今回、好評だった夏休みの「子ども博物館教室」また来年の夏休みにもご期待下さい！



第1回・野外学習の様子



第2回・参加者で記念撮影



第2回・土器作りの様子

わらば～体験じゅく報告

10月に入ると夏の暑さも収まり、すっかり季節も秋になりました。6月からはじまった“第9期 わらば～体験じゅく”も3回目が終わりました。第1回目の「開校式&慰霊の日講演会」では、自己紹介にはじまり、「新収藏品展&慰霊の日特別展」を見学しました。その後の講演会にも参加し、講師の話に耳を傾けました。その日はTVの取材も入っており、夕方のニュースに体験じゅくのメンバーもバッチリ映っていました。第2回目は大山の伝統行事「大綱引き」に参加しました。博物館でも大綱引きのことについて勉強しましたが、現場でも大山の方々に色々教えてもらいました(^ ^) 体験じゅくのメンバーは道ズネーに参加し、メダカリとクシダカリの二手に別れて、一生懸命、大山小学校まで大綱を運んでいきました。第3回目は「喜友名の石獅子めぐり」を行いました。大学の実習生にも手伝ってもらい、喜友名地区にある石獅子を探しました。体験じゅくのメンバーは、3グループに分かれ、自らの力で地図を片手に協力しながら、7体の石獅子を探す旅に出て行きました。しかし、大雨に見舞われ途中で中止になってしまいました。「雨に濡れてでも探したい」というメンバーもいましたが体調を崩さないよう、ここで終了となりました。とても残念でした。。。

わらば～体験じゅくでは、来年の2月まで自然観察や田いもの植え付けなどいろいろな体験をしていきます。体験を通して伝統行事や文化などに興味をもってもらえればと思います。



第1回 開校式&慰霊の日講演会



第2回 大山の大綱引き



第3回 喜友名石獅子めぐり

* 長寿の秘訣 * ~ これを食べればあなたも健康長寿! ? ~

近年、「スローライフ」や「スローフード」、「ロハス」といった言葉をよく耳にする事はありませんか？ 実はこの言葉が使われる前から、それを実行していた方たちがいたんですっ(o)！ その方たちとは...私達の先祖や、ご年配の先輩方の事です。戦前・戦後間もない頃の沖縄では、ゆっくりとした時間が流れ、ほとんどの家庭が決して裕福とは言えないけれど、それなりに工夫し、知恵を絞って生活してきました。そこで今回は、その頃の秋(今の8月~10月)と冬(今の11月~1月)に、一般の農家の家庭に出された夕食をご紹介します。皆さんが食べている夕食と、どう違うのか比べてみて下さいね(*^_^*)

秋の夕食 ~ 本日のメニュー ~

< イモ・とうふ汁・ラッコウ漬け >



~ 生活の様子 ~

この頃になると、少し涼しくなり、イモの植付けや、春野菜の種まきなどをします。その合間に、サトウキビの刈入れの準備をしておきます。

夏に比べて、青野菜が種類も量も多く収穫できます。汁に入れたり、炒め物にしたりとたっぷり食べます。

今年収穫したばかりの大豆で豆腐を作ります。とうふ汁は、塩で味を着けただけですが、イモと良くあい、体も温まります。

冬の夕食 ~ 本日のメニュー ~

< イモ・むじ汁・にんにくジージキ >



~ 生活の様子 ~

時計がないので、朝は午前3時に鳴く一番鶏から、4時~5時にかけて鳴く三番鶏の間に起きます。さすがにこの時期のこの時間に起きるのは、寒さが身にしみます。

朝起きるとまず一番に、一日の家族の食べ物であり、また家畜の餌でもある、ソム(さつまいも)を炊くことから始めます。むじ汁は、豚あぶらの汁に一寸ほどにぎんだターソムの茎、くずした豆腐、味噌を入れてやわらかく煮ます。にんにくは、黒砂糖で漬けてあるので真っ黒ですが、コクがあって食事もちだんと美味しくなります。

自動交付機

証明書が自動交付機で交付できるようになりました
(住民票、印鑑登録証明書、税関係証明書(所得証明書等))

住民票の写し・印鑑登録証明書・所得証明書・課税証明書の発行ができます。

【自動交付機を利用するためには】

自動交付機を利用するためには、本庁市民課にて「市民カード」または、「住民基本台帳カード」の交付を申請し、暗証番号(4桁)の登録が必要になります。

既に印鑑登録カードをお持ちの方は、市民カードに引き替える(無料)ことができます。

市民カード交付の手続きの際は、本人申請のみで、身分証明書の提示が必要になります。

【お問い合わせ】

宜野湾市役所 市民課 市民係 : 893 - 4411 (内線 108・109)

入館料無料

平成20年4月1日から、市立博物館の入館料が**無料**となりました(*´`人)
 市民の皆様のご来館を心からお待ちしております
 ご来館の際には窓口にて**入館券**をご入手なされてから見学を行いますようお願いいたします。
 また本館では、市民の皆様にとって「**親しみのある地域学習の場**」、児童・生徒にとっては「**楽しみのある体験学習の場**」となるような博物館づくりに努めたいと存じます！

学校や自治会、子ども会、婦人会などの団体見学を希望される場合は、ご依頼に応じて、担当職員が展示のご案内をいたします。その際、見学予定日の1週間前までに来館もしくは、電話での手続きを行ってください。

～ 平成20年度の事業案内 ～

2008年9月～2009年1月

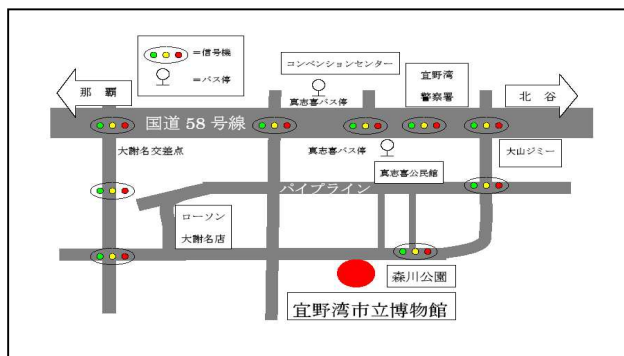
月	日	曜日	内 容	期 間
9	1	月	企画展 「デイリー・オキナワン里帰り展」	入場無料 9月28日(日)まで
10	4	土	特別展 「宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展」	入場無料 10月20日(月)まで
毎月第3土曜日	(内容によっては、変更があります)		子ども博物館 第9期 「わらばー体験じゅく」	9月は田芋植え付け！ 10月は自然観察！ 11月は漆喰シーサー！ 受付終了しました 2008年6月～ 2009年2月まで

日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

その他、講演会も開催予定。

詳しい日程や内容は、事業開催前に配布するチラシ等、あるいは市報や新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネット、ホームページ等をご覧ください。博物館までお問い合わせください。

宜野湾市立博物館の案内



大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316

開館日・入館受付時間

平日、土、日曜日の午前9時～午後5時
 (入館受付は午後4時30分まで)
 文化の日(11月3日)は開館の予定です。

休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
 年末年始(12月29日～1月3日)
 その他、くん蒸による臨時休館日あり
 休館日に祝祭日が重なる場合には、翌日の休みでない日が振替休日となります

2階の図書室は、無料でご利用できます。
 但し、窓口での受付が必要です。
 貸出・コピーは致しておりません。